

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。（建築基準法施行令第93条）

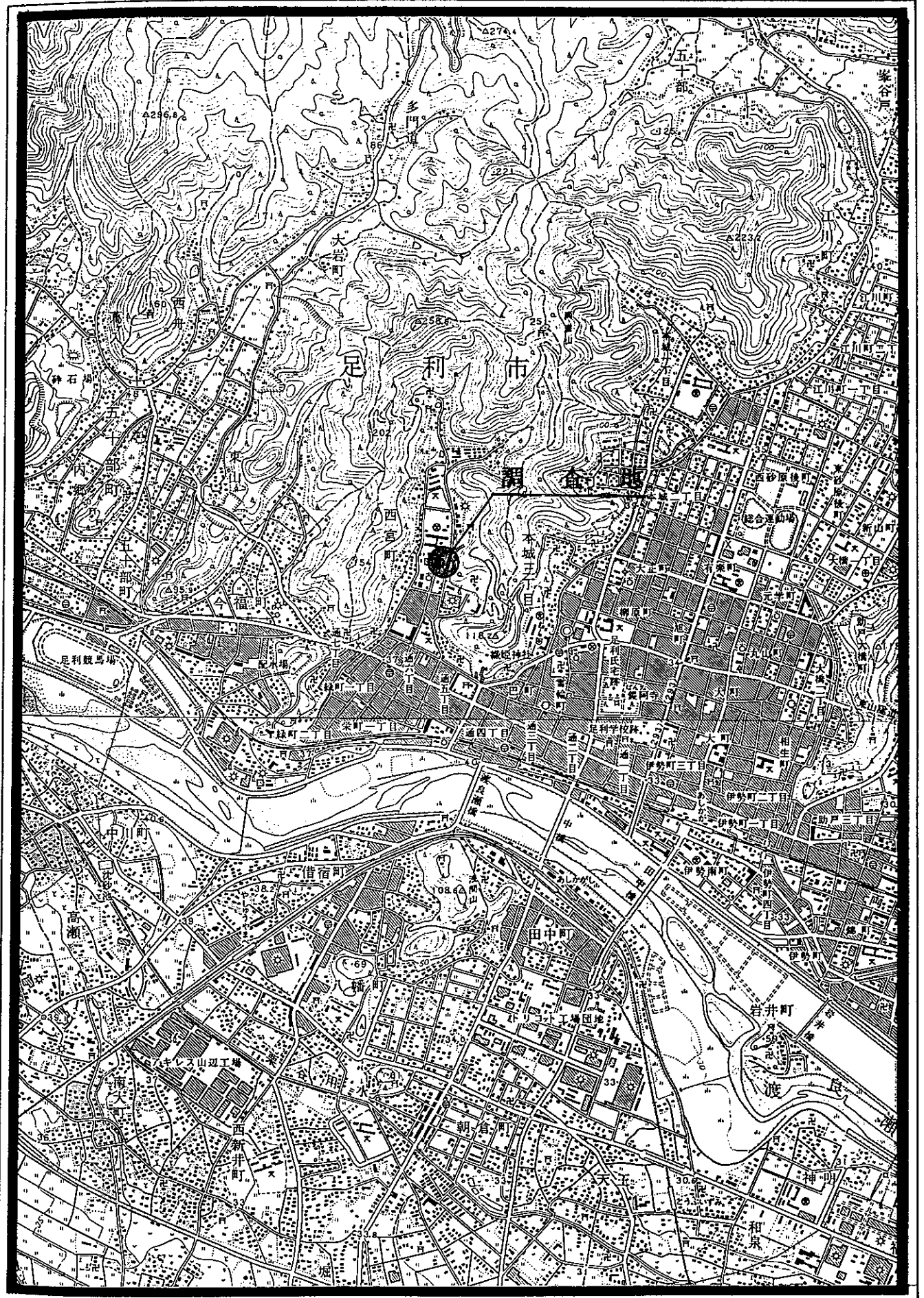
地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県県土整備部建築課

調査位置図

1:25000



ボーリング柱状図

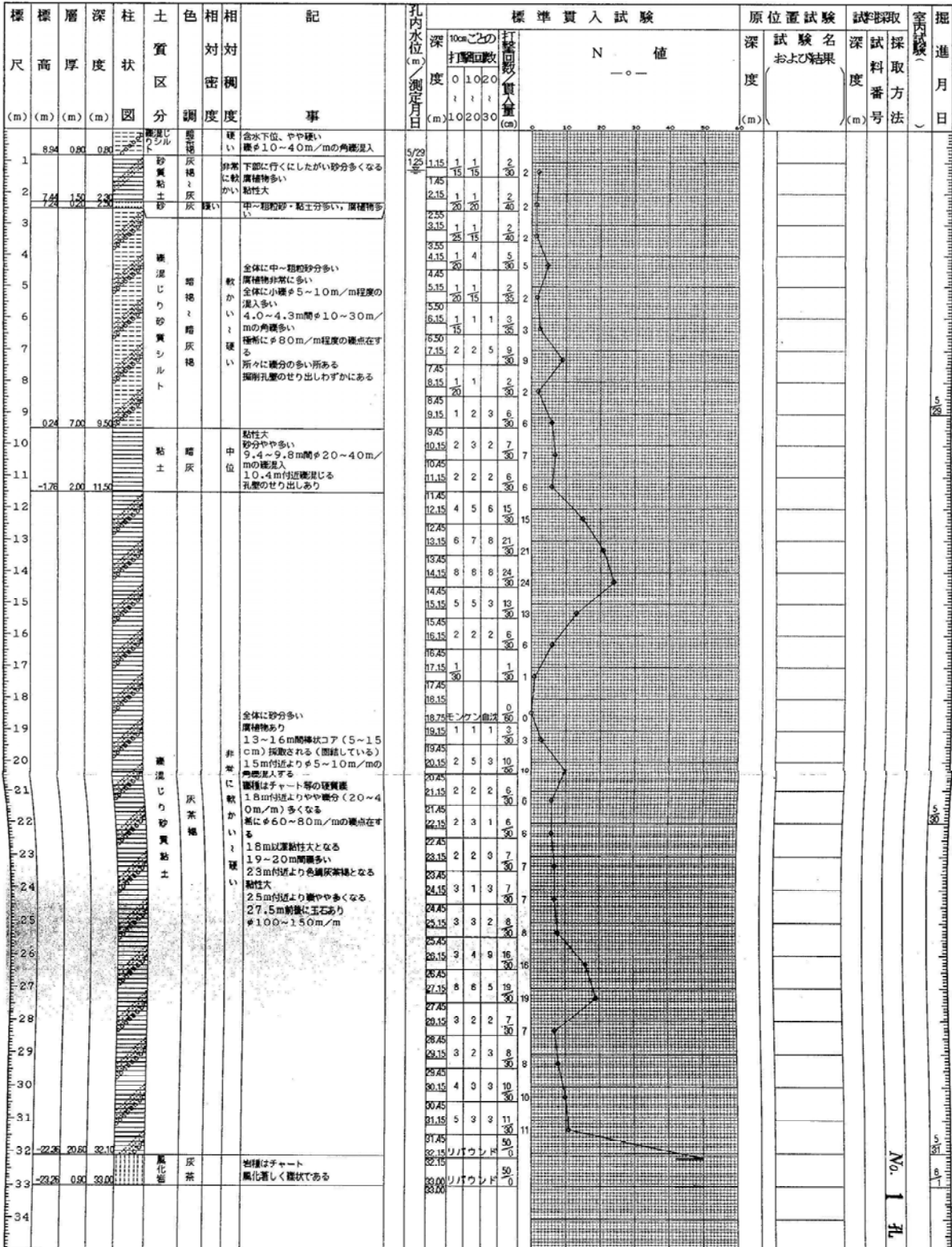
調査名 足利工業高校図書館新築工事地質調査

ボーリングNo. 1

事業・工事名

シートNo. 19900605

ボーリング名	No. 1 孔	調査位置	足利市西富町2908-1		北緯
発注機関		調査期間	平成22年5月29日～22年6月1日		東経
調査業者名		主任技師	代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	9.73m	角	度	90°	方
総掘進長	33.00m	度	180°	方	向
		地盤記号	使用機種	試験機	エンジン
			カノ KR-100型	ハンマー落下用具	ポンプ
			ヤンマーNF-80	コンプーリー	カノ V6-A型



第 図 土質柱状図

調査名 足利工業高校電子機械科実習棟新築に伴う地質調査
 地点番号 No. 1孔 標高 -0.65m 調査年月日 62年12月 2日~12月 4日
 ボーリング方法 ロータリー式
 孔内水位 GL-0.8m 担当者名

備考
 調査場所 足利市西宮町 2908
 既存資料

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色 調	記 事	標準貫入試験						
									深 度 (m)	N 値 回	10cm毎の打撃回数			(N 値)	
									10	20	30	40	50		
1	-1.25	0.60	0.60			盛土	暗褐	砂や砂礫(φ50m/m前後が主)の盛土 希にφ200玉石混入	1.15	1	0	1			
2							茶褐	1.0m付近まで茶褐色を帯る	1.45	30	10	20			
3								1.7mより2.0m付近まで礫を混入する(φ30~50m/m)	2.15	2	1	1			
4	-4.55	3.90	3.30			砂質粘土	緑灰	粘性上位 2.0m付近より腐植物を混入する	2.45	30	15	15			
5	-5.35	4.70	0.80			シルト	暗褐	粘性上位、有機質 若干砂分混入する	3.15	1	0	1			
6	-5.85	5.20	0.50			砂 礫	緑灰	φ30~70m/mの角礫多い マトリックスは粗粒砂崩れ易い	3.45	30	20	10			
7							暗茶褐	上部腐植物が多い 5.6~5.8m間に砂礫層を挟む	4.15	2	1	1			
8								所々砂分を混入する 全体に粘性は中~上位に類する	4.45	30	20	10			
9								14.5~14.9m間は粘土混砂礫層を挟む 全体的にチャート等の硬質礫で径φ30~40が主体	5.15	6	3	2	1		
10								16.3~16.6m間はφ10m/m程度の小礫を混入する	5.45	30	10	10	10		
11								17.0m~18.4m間は非常に軟弱である 色調に変化が多い 白黄色と緑灰の風化礫を混入する	6.15	4	1	1	2		
12								φ10~15m/mの小礫が多く混入する 全体的に礫混層となっている	6.45	30	10	10	10		
13								21.7~21.8m間に砂礫層を挟む	7.15	5	2	1	2		
14								22.7~22.9m間に砂礫層を挟む 粘性上位	7.45	30	10	10	10		
15								25m付近は礫少なく灰色を帯る	8.15	3	1	1	1		
16								11m付近より以深所々固結し10~20%のコアになる 「軟かい~固結した」コンステンション	8.45	30	10	10	10		
17									9.15	6	2	2	2		
18									9.45	30	10	10	10		
19									10.15	11	3	3	5		
20									10.45	30	10	10	10		
21									11.15	6	2	1	3		
22									11.45	30	15	5	10		
23									12.15	13	3	3	7		
24									12.45	30	10	10	10		
25									13.15	17	5	6	6		
26									13.45	30	10	10	10		
27									14.15	5	1	2	2		
28									14.45	30	10	10	10		
29									15.15	6	2	2	2		
30	-30.05	29.40	24.20			砂質粘土	暗茶褐		15.45	30	10	10	10		
31	-30.65	30.00	0.60			風化岩	緑灰	風化著しく礫状で採取	16.15	9	2	2	5		
									16.45	30	10	10	10		
									17.15	2	1	1			
									17.50	35	20	15			
									18.15	2	0	2			
									18.45	30	20	10			
									19.15	4	1	1	2		
									19.45	30	10	10	10		
									20.15	7	2	2	3		
									20.45	30	10	10	10		
									21.15	9	3	2	4		
									21.45	30	10	10	10		
									22.15	16	5	5	6		
									22.45	30	10	10	10		
									23.15	18	3	5	10		
									23.45	30	10	10	10		
									24.15	36	12	12	12		
									24.45	30	10	10	10		
									25.15	14	4	4	6		
									25.45	30	10	10	10		
									26.15	13	3	4	6		
									26.45	30	10	10	10		
									27.15	17	4	5	8		
									27.45	30	10	10	10		
									28.15	26	6	10	10		
									28.45	30	10	10	10		
									29.15	45	14	14	17		
									29.45	30	10	10	10		

第 図 土質柱状図

調査名 足利工業高校電子機械科実習棟新築に伴う地質調査
 地点番号 No. 3孔 標高 KBM=0mとする。 -0.53m
 ボーリング方法 ロータリー式
 調査年月日 62年12月10日~12月11日
 孔内水位 GL-0.80m 担当者名

備考
 調査場所 足利市西宮町2908
 既存資料

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色 調	記 事	標準貫入試験						
									深 度 (m)	N 値 回	10cm毎の 打撃回数			(N 値)	
									10	20	30	40	50		
1	-1.23	0.70	0.70			盛 土	暗茶褐	玉石φ200及びカワラ等含む	1.15	3	1	1	1		
2							茶 褐	2m付近までローム質の粘土で粘性上位	1.45	30	10	10	10		
3							灰 緑	2m付近よりφ30m/m前後の礫を多く混入する	2.15	3	1	1	1		
4							緑 灰	3.2m付近より礫がなく若干小礫(φ10m/m前後)を混入する	2.50	35	15	10	10		
5								全体に粘性上位色調に変化が多い「非常に軟かい~軟かい」コンシステンシー	3.15	2	1	1			
6	-6.83	5.80	5.10			砂質粘土	暗茶褐		3.45	30	10	20			
7	-7.03	6.50	0.70			粘土混じり砂	灰 茶	φ30~50m/mの角礫が主体 粘土分多い	4.15	4	1	1	2		
8								風化した小礫(φ10m/m程度)を混入 粘性上位	4.45	30	15	5	10		
9	-8.93	8.40	1.90			砂質粘土	暗茶褐	10~20%のコアになる	5.15	6	1	2	3		
10								全体的に風化著しく粘土状でコアにならない	5.45	30	10	10	10		
11								11m付近は特に風化著しく粘土化している	6.15	14	2	6	6		
12								下部に徒がい徐々に硬くなる	6.45	30	10	10	10		
13								不均質である	7.15	8	2	3	3		
14								クラック面は黒色に変色している	7.45	30	10	10	10		
15								13m付近より礫状コアで採取され採取率は10~20%程度である	8.15	12	3	4	5		
16	-16.53	16.00	7.60			風化岩	茶 褐		8.45	30	10	10	10		
17									9.15	35	6	13	16		
18									9.45	30	10	10	10		
19									10.15	50	50				
20									10.25	10	10				
21									11.15	50	32	18			
22									11.32	17	10	7			
23									12.15	50	15	21	14		
24									12.39	24	10	10	4		
25									13.15	50	17	33			
26									13.35	20	10	10			
27									14.15	50	12	24	14		
28									14.38	23	10	10	3		
29									15.15	50	16	23	11		
30									15.36	21	10	10	1		
31									16.15	50	19	31			
									16.34	19	10	9			